

教科	技術・家庭	分野	家庭	学年	第3学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容	単元のまとまりの評価規準		
幼児の生活と家族	13.5	幼児期への関心を持つ。 幼児の身体の発育について、発達の方角性や順序性ととも個人差があることを理解する。 幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 子どもが育つ環境としての家族や周りの大人の役割について理解する。 幼児にとって遊びの意義を理解する。 十分な遊びを経験できる環境の重要性を理解する。 幼児と触れ合うときの留意点を理解する。 幼児とのかかわり方について身に付けた基礎的な知識を活用し、幼児と触れ合う。 幼児とのかかわり方について感じたことや考えたことを話し合い、理解を深める。 子どもの成長と地域とのつながりをしり、地域の中で中学生ができることを考える。	○知識・技能 幼児の身体や心の発達の特徴について理解している。 子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 幼児にとっての遊びの意義について理解している。 幼児とのかかわり方について理解している。 子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ○思考・判断・表現 幼児とのかかわり方について問題を見出し、課題を設定している。 幼児とのかかわりについて解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。 ○主体的に学習に取り組む態度 幼児とのかかわり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 幼児とのかかわり方について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 よりよい生活のために幼児とのかかわり方について生活を工夫、創造し、実践しようとしている。 ○知識・技能 家庭生活は地域とのかかわりで成り立っていることを理解している。 高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。 介護など高齢者とのかかわり方について理解している。 ○思考・判断・表現 地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見出して課題を設定している。 設定した課題について解決策を構想している。 高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。 ○主体的に学習に取り組む態度 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて家族・家庭や地域との関わりについて課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 高齢者とのかかわり方について課題の解決に向けた一連の活動を振り返り、改善しようとしている。 持続可能な社会を目指して、家庭・保育・地域などについて工夫創造し、実践しようとしている。		

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	家庭	学年	第3学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容	単元のまとまりの評価規準		
家庭生活	4	家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解する。 地域で様々な人々が暮らせるための工夫を理解する。 地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者など様々な高齢者がいることを理解し、高齢者とののかかわりを考える。 誰もが尊重される家庭・地域の生活を目指して、課題をみつけ、実践的に取り組む。	○知識・技能 家庭生活は地域とののかかわりで成り立っていることを理解している。 高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。 介護など高齢者とののかかわり方について理解している。 ○思考・判断・表現 地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見出して課題を設定している。 設定した課題について解決策を構想している。 高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。 ○主体的に学習に取り組む態度 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて家族・家庭や地域との関わりについて課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 高齢者とののかかわり方について課題の解決に向けた一連の活動を振り返り、改善しようとしている。 持続可能な社会を目指して、家庭・保育・地域などについて工夫創造し、実践しようとしている。		